東京鶴翔同窓会　令和４年度「第２回常任幹事会」　議事録

【日　時】2022 年６月 21 日（火曜）18:30～20:30
【場　所】中央区堀留町区民館　１・２号洋室
【出席者】坂田敬一（74 回）、梅津準士（77 回）、大泉正（85 回）、加藤孝幸（79 回）、
長江和子（70 回）、小林桂子（78 回）、坂田俊次（80 回）、菅井順朗（81 回）、
今野りつ（82 回）
岡部次樹（75 回）、杉山恵子（77 回）、伊藤美津子（80 回）、浦嶋貞一（80 回）、
石川康博（81 回）　　敬称略

Ⅰ．会長挨拶
Ⅱ．議　題
（１）　令和３年度決算報告　　（岡部）※別紙資料あり
一般会計、総会会計が承認された
※会報　印刷部数は 3,200 部
発送 2,878(サラトラベル分)＋　直送分　＝　約 3,000 部
（２）　役員の改選について
①　渡部洋（68 回）顧問、　小林桂子（78 回）常任幹事の退任が報告された
②　今後の体制について
ここ 2 年間、ほぼ休止状態であったこと、当面秋の総会に向け活動が再開されたばかりであることから、現体制での続行が承認された
（３）　第 52 回同窓会について
①　総会、親睦会の開催の可否について
⇒　実施に決定、
ただし感染症が蔓延した等により中止の場合もありうる
なお、この決定は臨時の常任幹事会等により決定
キャンセル料金発生は止むを得ない（この場合大泉氏の尽力に期待）
万が一の中止も会報発行には影響なし
②　会報の内容について
③　広告についての報告と確認
⇒　従来設定がなかった広告枠２枠の掲載料、35,000 円を確認
（４）　その他
①　他団体との交流及び動向について（梅津）
・酒田東高校との交流会実施は可能性あり
・北高との統合による同窓会について今後時間をかけて話し合いを行う（会長）
②　他団体との総会に参加する来賓者の決定について（会長）
→　実行委員会からの参加も選択肢に入れることに決定
③　年会費の払込手数料について（杉山）　※別紙あり
→　従来通り、赤い振込票（手数料受け取り人払い）使用に決定
（現金の場合の払込人 110 円負担はあり）
※事前払いの促進とネットバンキング利用を積極的に案内する
④　新名簿の発刊（会長）

⑤ 母校の創立記念日（会長）
鶴翔同窓会、創立 134 周年記念祝賀会は中止と決定
○ 7 月 11 日大手町での「酒井家庄内入部 400 年シンポジウム」申し込みにまだ余裕あり案内を！（梅津）

◆ 問題提起と意見交換 ----------
○ 年会費納入者の減少について問題提起あり（梅津）、
・歯止めをどのようにするか、年度幹事中心に、横のつながりを作ることが重要と考える（梅津）
・総会は若手を集めるきっかけになる
また 8,000 円会費の集まりに若手がどこまで関心を示すか(菅井)
・昨年の場合会報の到着が 11 月で、12 月の会計年度の締めまで２ヶ月しかなかったことも会費減少の要因（例年は 5 月初旬、今年は 10 月初旬の予定）（岡部）
・母校で女子が増えているが、大学卒業後帰郷する人も多いので、首都圏の会員の減少に？（長江）
○ コロナによる休眠状態から再起動して次ぎにつなげることが求められている
同窓会として、若手の動員には「総会の実施」だけではない「他の活動」の模索も必要と考える（梅津）、
・酒田東高校の事例が紹介された（修学旅行での交流、また若手同窓生と出張扱いで当時の担当教員との集い）
・例えば、 “際立って活躍している同窓生”と若手同窓生の交流の機会があると豊富な人材抱える同窓会の価値を知るきっかけになるのではないか。（梅津）
・人生の節目での同窓生との交流会も考えられるのでは（加藤）
○「年度幹事中心の横のつながり」に関して、
・現状は特に 90 回生以降の参加者が少ない
・鶴岡市役所（東京事務所長経験者など）からの紹介が若手同窓生の獲得につながり感謝している（梅津）
・ＨＰでの積極的な広報活動も効果的（菅井）
○ 課題の共有はできたので具体的アクションの検討が必要なのでは（石川）
・例えば、年度幹事会を現在の年１回から２回にして集まる機会を増やし、色々な情報を共有することはどうか？（石川）
⇒「年度幹事会２回案」は継続して検討することに決定
○ ＨＰをもっと活用してほしい、実際に投稿してほしい（伊藤）

など、意見交換した。

以上。